

学校が苦手な児童生徒の保護者の方へ 不安や困りごと、ありませんか？



学校に行きたがらない

- 学校から帰ってくるといつも疲れている
- 学校に行こうとすると頭やお腹が痛くなる
- 家や自分の部屋から出たがらない

子どもへの接し方が分からない

- 子どもに学校に行くよう働きかけてよいのか
- 学校に行かない理由を聞いてよいのか
- 理由を聞いてもよく分からない／答えたがらない
- 家庭学習を続けるべきか
- 誰にも相談できない

心配な状態が続いている

- ゲームやSNSに没頭して昼夜逆転している
- 学習の進度が遅れ、学校の授業についていけない
- このままでは、将来、進学や就職できないのでは

一人で悩まないでください。

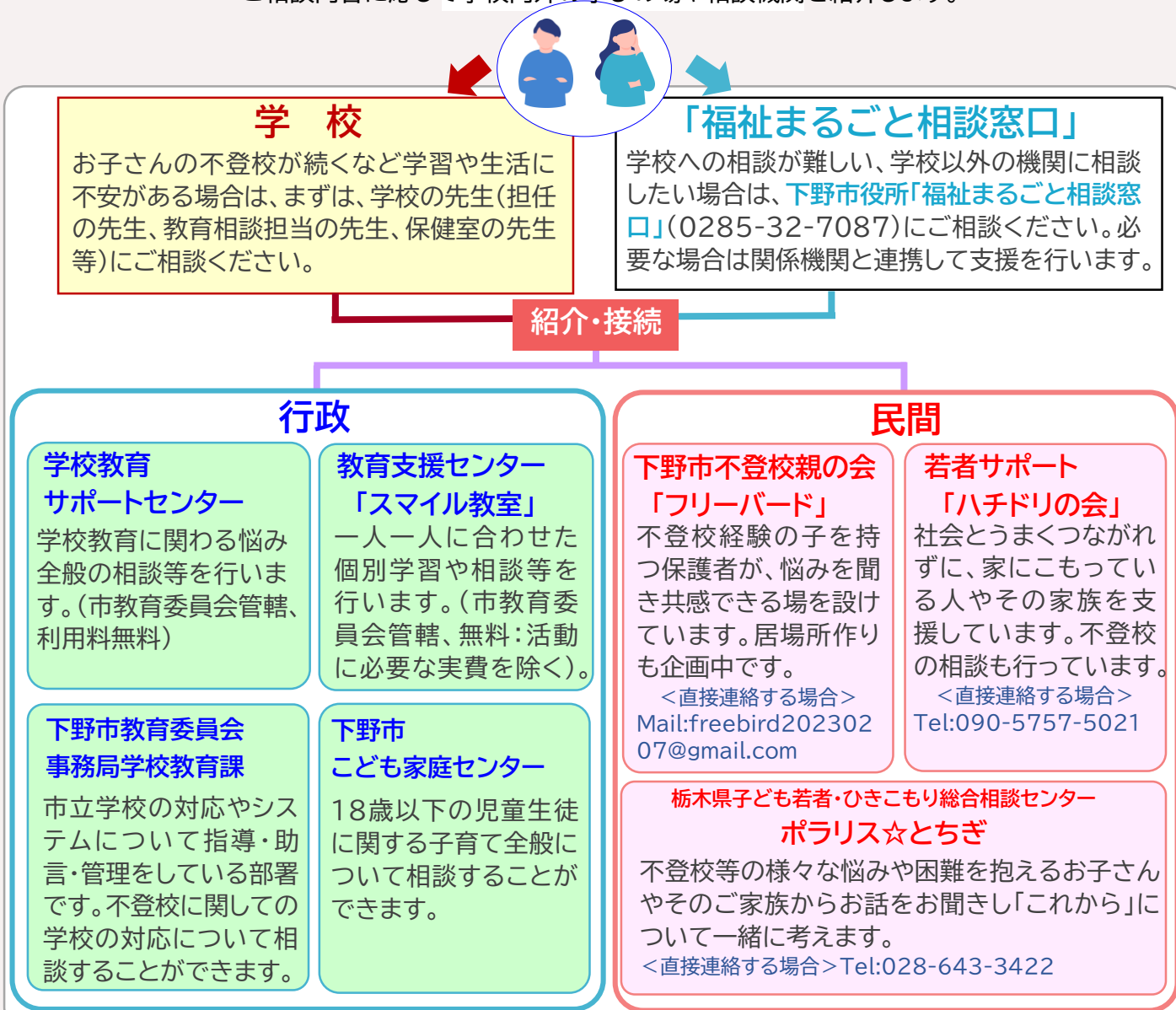
不登校は誰にでも起こり得ることです。
お子さんや保護者の方の周りには、行政・民間の様々な支援の輪が広がっています。このパンフレットでは、不登校等学校が苦手なお子さんの保護者の方の相談先などについてご紹介します。

多様な学びの場や支援の仕組みがあります。

不登校の児童生徒のための相談や学習の場、保護者の方を支援する様々な制度やサービスがあります。

まずは、学校、または、下野市役所「福祉まるごと相談窓口」にご相談ください。

ご相談内容に応じて学校内外の学びの場や相談機関を紹介します。



学 校

学校内にも落ち着いて過ごせる場所や相談に乗ってくれる専門家がいます。
これらの教室の利用や相談を希望する場合は、各学校や下野市教育委員会事務局学校教育課(0285-32-8918)にお問合せください。

校内教育支援センター

学校内の空き教室等を活用した居場所のことです。
お子さんのペースに合わせて相談に乗ってくれたり学習のサポートをしてくれたりします。

※学校の実情により設置状況が異なります。まずはご相談ください。

スクールカウンセラー

児童生徒やその保護者の心のケアや、ストレスへの対処等を行う心理の専門家です。
公認心理師や臨床心理士などの資格を持っている方が多いです。



スクールソーシャルワーカー

児童生徒やその保護者に福祉・医療的な支援が必要な場合に、福祉の窓口につないでくれたり、手続きの補助などをしてくれたりする福祉の専門家です。
社会福祉士や精神保健福祉士などの資格を持っている方が多いです。